

問1 ユーラシア大陸北部のシベリアなどのように、高緯度で冬の寒さが極めて厳しい地域において、伝統的に動物の毛皮を用いた厚手の防寒着が着用されてきた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 広島公立入試 類似)

1. 動物の毛皮は繊維の間に多くの空気を含むため断熱性が非常に高く、マイナス数十度に達するような極寒の環境で体温を維持するのに適しているから。
2. この地域は年間を通じて降水量が非常に多いため、毛皮が持つ撥水性を利用して、衣服が雨や雪で濡れて体温が奪われるのを防ぐ必要があるから。
3. 標高が高く空気が希薄な環境において、強い日差しを遮りつつ、急激な気圧の変化から身体を保護するために厚手の素材が求められたから。
4. この地域では綿花の栽培が容易であるが、野生動物の狩猟が神聖な儀式とされていたため、宗教的な理由から毛皮の着用が義務付けられていたから。

問2 サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料の利用が、地球温暖化の抑制に寄与するとされている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。
2. バイオ燃料は燃焼させても二酸化炭素や排気ガスを一切排出しない性質を持っているため。
3. 石油などの枯渇性資源と比べて製造コストが極めて低く、経済活動を停止させる必要がないため。
4. 植物を原料とすることで、燃焼時に二酸化炭素を吸収して酸素を放出する化学反応が起きるため

問3 インドの統計において国民の約8割が信仰している宗教と、その宗教に関連する習慣や場所の組み合わせとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 佐賀公立入試 類似)

1. ヒンドゥー教の信者が、聖なる川とされるガンジス川で沐浴を行い、身を清める習慣がある。
2. イスラム教の信者が、唯一神への礼拝の儀式として、ガンジス川で身を清める習慣がある。
3. 仏教の信者が、厳しい修行の一環として、ガンジス川の流域で身を清める習慣がある。
4. キリスト教の信者が、聖地巡礼の儀式として、ガンジス川で洗礼と同様の行為を行う習慣がある。

問4 北半球の高緯度に位置するフィンランドの首都ヘルシンキの気温について、1月の平均気温が約マイナス5度まで下がり、7月の平均気温が約18度まで上昇する統計が示されています。このような気温の特徴が見られる気候帯を何といいますか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. 冷帯 (亜寒帯)
2. 温帯
3. 寒帯
4. 乾燥帯

問5 世界の主要な農作物の統計において、生産量では中国 (17.6%) が首位で、これに次いでインドなどの人口の多い国が上位を占めている一方、輸出量ではロシア (13.8%) が首位となり、アメリカ合衆国やカナダが上位に並んでいる作物として最も適切なものはどれですか。 (2020年 三重公立入試 類似)

1. 小麦
2. とうもろこし
3. 米
4. 大豆

問6 イスラム教は西アジアから遠く離れた東南アジアのインドネシアなどでも広く信仰されています。このように、イスラム教が海を越えた地域まで広まった背景として最も適切な理由を選びなさい。 (2018年 岡山公立入試 類似)

1. ムスリム (イスラム教徒) の商人による交易活動が活発だったため
2. 十字軍による遠征によってキリスト教から改宗させられたため
3. 古代の仏教勢力がイスラム教を国教として受け入れたため
4. ヒンドゥー教の教えをイスラム教が完全に取り込んだため

問7 コーヒー豆の主要生産国であるブラジル、ベトナム、コロンビア、インドネシア、エチオピアの5か国における、2010年と2020年の統計的な特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

1. ブラジルは生産量で圧倒的な首位であり、エチオピアの生産量はこれら5か国の中で最も少ない。
2. アジアに属するベトナムとインドネシアは、いずれも生産量が150万tを超え、ブラジルに迫っている。
3. 南アメリカのコロンビアは生産量が急増し、2020年にはベトナムを抜いて世界第2位となっている。
4. 世界的な需要の高まりにより、これら主要5か国のすべてにおいて生産量が10年間で2倍以上になった。

問8 世界の諸地域における宗教と生活文化の関係について述べた次の文のうち、エジプトの家畜飼育に関する説明として正しいものはどれですか。 (2016年 奈良公立入試 類似)

1. イスラム教徒が多いため、宗教上の理由から豚の飼育頭数が極めて少ない。
2. 仏教の殺生を嫌う教えが浸透しているため、肉用牛の飼育が制限されている。
3. ヒンドゥー教を信仰する人々が多いため、牛の飼育は行われるが食用にはされない。
4. キリスト教の伝統的な祭礼において羊が重視されるため、豚の飼育は行われない。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 動物の毛皮は繊維の間に多くの空気を含むため断熱性が非常に高く、マイナス数十度に達するような極寒の環境で体温を維持するのに適しているから。	シベリアなどの寒冷地域では、冬の気温が極めて低くなるため、生存には体温の保持が不可欠です。動物の毛皮は、毛の間にデッドエア（動かない空気）の層を作ることによって熱を逃がさない優れた断熱効果を持っており、古くから防寒着の素材として重宝されてきました。降水量が多い地域や標高が高い地域（アンデス山脈など）の生活様式とは、背景にある気候条件が異なります。
問2	答え 1 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。	バイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は原料となる植物が成長過程で光合成によって大気中から吸収したものです。そのため、大気全体の二酸化炭素の増減に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方に基づいています。これにより、石油などの枯渇性資源の使用を抑えつつ、地球温暖化の原因となる物質の増加を抑制し、持続可能な社会の実現に寄与することが期待されています。
問3	答え 1 ヒンドゥー教の信者が、聖なる川とされるガンジス川で沐浴を行い、身を清める習慣がある。	インドの主要宗教であるヒンドゥー教では、生活習慣と宗教が密接に結びついています。聖地バナレス（バラナシ）などを流れるガンジス川は特に神聖視されており、川の水で「沐浴」をすることが信仰生活における重要な儀礼となっています。他の宗教もインド国内に存在しますが、ガンジス川での沐浴を最大の特徴とするのはヒンドゥー教です。
問4	答え 1 冷帯（亜寒帯）	最寒月の平均気温がマイナス3度未満であり、かつ最暖月の平均気温が10度以上となる地域は冷帯（亜寒帯）に分類されます。ヘルシンキは北半球の高緯度に位置しており、冬季には氷点下となる一方で夏季には気温が上がるため、気温の年較差が大きくなるのが特徴です。
問5	答え 1 小麦	小麦の生産量は、主食としての需要が高い中国やインドが世界の上位を占めていますが、これらの国は国内での消費量が多いため、輸出に回る割合は低くなります。対して、ロシア、アメリカ合衆国、カナダなどは広大な農地で商業的な農業を行っており、国内消費を上回る余剰分を世界市場へ輸出しているため、輸出統計ではこれらの国が上位に現れます。
問6	答え 1 ムスリム（イスラム教徒）の商人による交易活動が活発だったため	イスラム教は西アジアの乾燥地帯で誕生しましたが、中世以降、インド洋を通じた海上貿易に従事したムスリム（イスラム教徒）の商人が東南アジアの島々を訪れるようになりました。その交易活動とともにイスラム教の教えが各地に伝わり、現在のインドネシアのように世界最大の信者数を持つ国が生まれる要因となりました。
問7	答え 1 ブラジルは生産量で圧倒的な首位であり、エチオピアの生産量はこれら5か国の中で最も少ない。	2010年および2020年の統計において、ブラジルは約300万t前後の生産量で他国を大きく引き離しています。アジアのベトナムは150万tを超え増加傾向にありますが、インドネシアやコロンビアは100万t未満での推移にとどまっています。コーヒーの原産地とされるエチオピアも重要な生産国ですが、この主要5か国の比較においては、生産量が100万tに達しておらず、数値が最も小さくなっています。
問8	答え 1 イスラム教徒が多いため、宗教上の理由から豚の飼育頭数が極めて少ない。	世界の家畜の分布は、気候条件だけでなく宗教的な背景も強く反映されます。北アフリカに位置するエジプトはイスラム教圏に属しており、戒律による食事制限（ハラール）があるため、豚の飼育頭数は統計的にほぼ見られない水準となります。これに対し、インドなどで信仰されるヒンドゥー教では牛を神聖視するため、牛の飼育頭数は多いものの牛肉の消費が少ないという異なる特徴を示します。